

# 「介護」を育む緊急全国集会

～介護従事者を支える 140 万人の声を国に届けよう～

～より良き介護サービスを求める 140 万人の声を国に届けよう～

## 趣意書

財務省は去る 10 月 8 日に「介護報酬の 6%カット」との方針を打ち出しました。平成 24 年度の介護報酬の実質マイナス改定、そして今回の「6%カット」が実施されれば、利用者へのサービスの質の確保どころか、介護従事者の人材確保、キャリアアップや処遇改善も不可能となります。

少子高齢社会は、今後、急速に進むことが予測され、このままでは国民の介護を担う体制が崩壊すると、私たちは強く危惧しております。

全老健の実態調査によれば、老健施設全体の経営は、借入金の返済もままならない程、危機的な状況であり、介護職員の適切な給与を確保することは困難です。

これらの現状に対するやむにやまれぬ思いから、公益社団法人全国老人保健施設協会では、10 月 31 日から 11 月 30 日までの 1 ヶ月間、「介護従事者の生活と人生を守り、利用者へのサービスの質を確保するための署名」活動を全国的に展開し、約 140 万筆という尊い署名を集めることができました。この署名を 1 月初旬にかけて内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣に要望書とともに提出する予定です。

国会では「介護・障害福祉従事者の人材確保のための介護・障害福祉従事者の処遇改善に関する法律」が可決されましたが、介護職員等に「普通の生活」を保障できる給与体系を可能にするには、あくまでも介護報酬の増額改定が前提となるべきであり、そのための財源確保が不可欠です。

そこで、来年度予算が決まるこの重要な時期に、公益社団法人全国老人保健施設協会が呼びかけ人となり、介護の現場で働くスタッフ、利用者・家族、事業者、その他保健・医療・福祉の関係者が一堂に会し、先に集めた署名にこめた想いを声にして、国会にそして官庁に届けるべく、全国集会を開催することといたしました。皆様ふるってのご参集をお願いいたします。

平成 26 年 12 月

公益社団法人全国老人保健施設協会

全国老人保健施設連盟

他 賛同団体一同

別 添

集会名 「介護」を育む緊急全国集会

日 時 平成27年1月8日（木）11時～13時

会 場 日比谷公会堂（東京都千代田区日比谷公園 1-3）

参加者 2,000名（介護の現場で働くスタッフ、利用者・家族、  
事業者、その他保健・医療・福祉の関係者）

主 催 公益社団法人全国老人保健施設協会

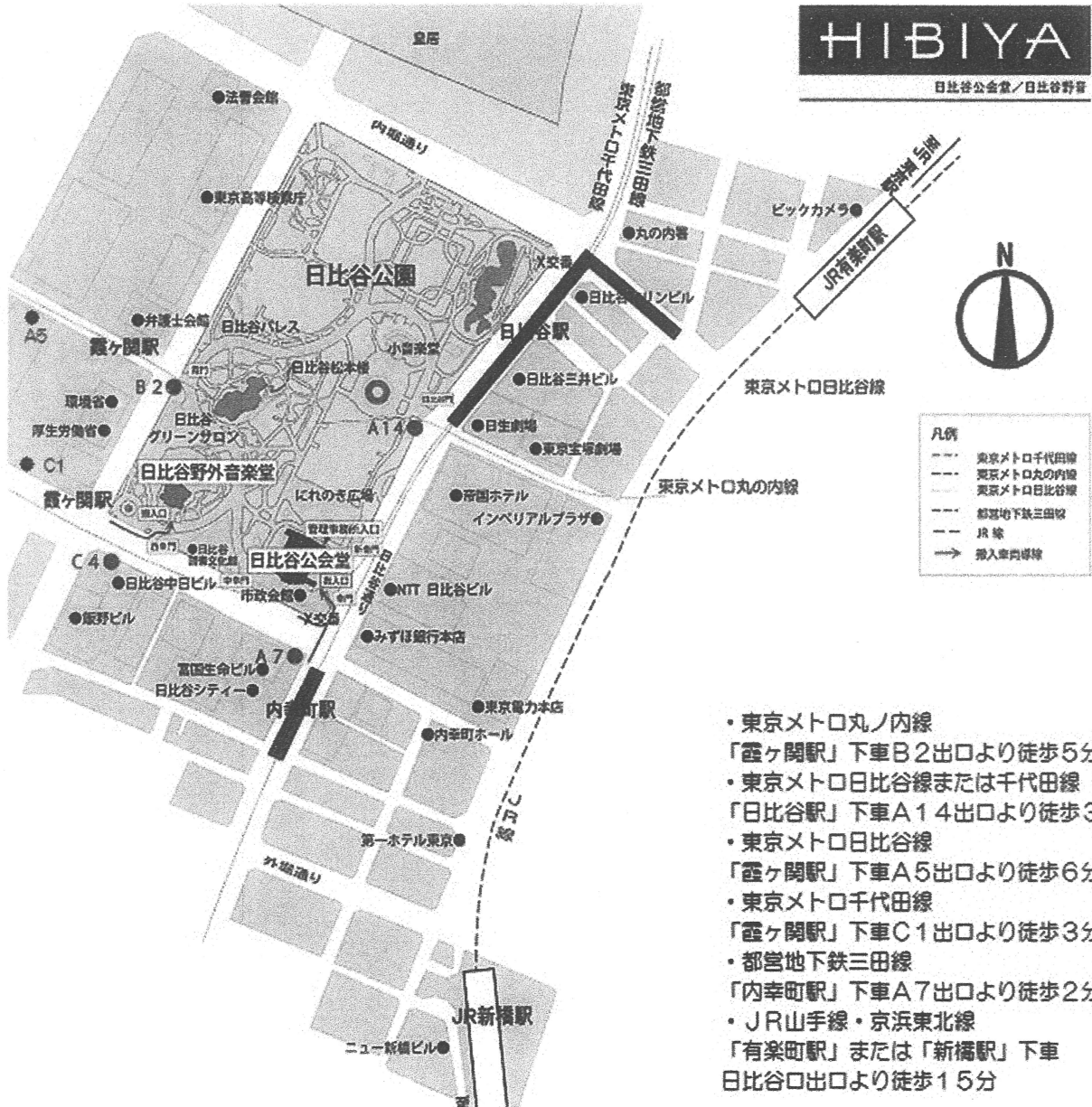
次 第（予定）

1. 開会宣言・挨拶
2. 賛同団体からのメッセージ
3. 趣旨説明
4. 現場からの声
5. 応援ご挨拶

※ 随時、臨席国会議員の先生方のご紹介

6. 宣言

# 日比谷公会堂 案内図



- 東京メトロ丸の内線  
「霞ヶ関駅」下車B2出口より徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線または千代田線  
「日比谷駅」下車A14出口より徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線  
「霞ヶ関駅」下車A5出口より徒歩6分
- 東京メトロ千代田線  
「霞ヶ関駅」下車C1出口より徒歩3分
- 都営地下鉄三田線  
「内幸町駅」下車A7出口より徒歩2分
- JR山手線・京浜東北線  
「有楽町駅」または「新橋駅」下車  
日比谷口出口より徒歩15分

